

昭和五十五年一月二十二日

ホンダ シビックシリーズを充実

パワーステアリング装備の最上級タイプ「EX」を追加

本田技研工業㈱は、ホンダシビック一五〇〇にパワーステアリング、パワウィンドを標準装備するとともに、内外装の充実を図った「EX」タイプを新たに加え、一月二十三日より発売する。

この「EX」タイプは、シビックの最上級車種として設定。シビック一五〇〇・五ドア「CF」タイプを基に、このクラスで初めてのパワーステアリングやパワウィンド、フルファブリックシートなど、装備の充実を図ったものである。これにより、さらになめらかな運転性能と高い質感が備わっている。

本田が独自に開発しアコードに採用した車速応動型パワーステアリングは、昭和五十二年には自動車技術会賞を受賞するなど高い評価を得ており、現在では、アコードの約七十四%、プレリユードの約四十二%（ホンダ調べ^{54/12}現在）がパワーステアリング装備車となっている。

なお、販売計画は国内月販一、〇〇〇台を予定している。

※主な特長

- 一五〇〇ccクラス初の車速応動型パワーステアリングの採用。駐車や車庫入れなどの低速では軽く、速度が増すにつれて、安定感ある適度な重さとなる。
- スイッチ操作ひとつで自在に開閉するパワウィンド。
- 緊急時自動ロック装置（ELR）付三点式シートベルトを前席に採用。装着にわずらわしさがすくなく、使用しないときには自動的にピラー内に収納される。



シビック「EX」タイプ 主要地区標準現金価格

(単位：千円)

地区 ミッション	東京	名古屋	大阪	福岡	札幌	仙台
5速	1,047	1,049	1,053	1,068	1,086	1,068
A T	1,067	1,069	1,073	1,088	1,106	1,088

- A T : ホンダマチック仕様
- エアコン 145千円高
- 札幌、仙台は寒冷地仕様分5千円含む。

● 1500・5ドアEX 主要諸元表

型 式		E - ST					
寸法・重量	全 長 (m)	3.830		最高出力 (PS/rpm)	80/5,500		
	全 幅 (m)	1.580		最大トルク (kg-m/rpm)	12.3/3,500		
	全 高 (m)	1.350		登坂能力 (tan θ)	0.48		
	ホイールベース (m)	2.320		燃料消費率 (km/ℓ)	25 [22]		
	トレッド (m)	前	1.360		60km/h・定地走行テスト値		
		後	1.370		最小回転半径 (m)	4.9 (車体 5.4)	
	最低地上高 (m)	0.165 (AC付 0.160)		制動停止距離 (m) 初速 50km/h時	13.5		
	車両重量 (kg)	825 (5速マニュアル車) (830)		クラッチ形式	乾式単板 ダイヤフラム [3要素1段 2相形]		
	乗車定員 (名)	5		変速機操作方式	フロアチェンジ式		
	室内寸法 (m)	長さ	1.720		変 速 比	1 速	2.916
幅		1.290		2 速		1.764	[1.565]
高さ		1.115		3 速		1.181	★ [0.903]
エンジン型式	EM		4 速	0.846			
エンジンタイプ	CVCC・水冷直列4気筒横置OHC(無鉛ガソリン使用)		5 速	0.714			
燃焼室形式	副燃焼室付ウェッジ型		後退	2.916	[2.045]		
弁機構	1頭上カム軸3バルブベルト駆動		減速比	4.428 [4.117]			
総排気量 (cm ³)	1,488		カジ取り形式	ラック・ピニオン式 (パワー仕様)			
内径×行程 (mm)	74.0 × 86.5		タイヤ	155SR-13			
圧縮比	8.8		主ブレーキの種類・形式	前	油圧真空倍力装置付ディスク		
燃料ポンプ形式	電磁式			後	油圧真空倍力装置付リーディングトレーリング		
燃料タンク容量 (ℓ)	41		懸架方式	前	マクファーソン式独立懸架		
潤滑方式	圧送式			後	マクファーソン式独立懸架		
点火方式	ポイントレス・トランジスタ式		その他				

※ [] 内はホンダマチック車です。

○ 読みとりやすく、しかも正確なデジタルクォーツ時計。
 ○ スタイルリングをひきしめるサイドプロテクションモール。
 ○ 質感の高いフルファブリックシート表皮。
 ○ 一五五SR-1三スチールラジアルタイヤ、ドアモールなども装備。